

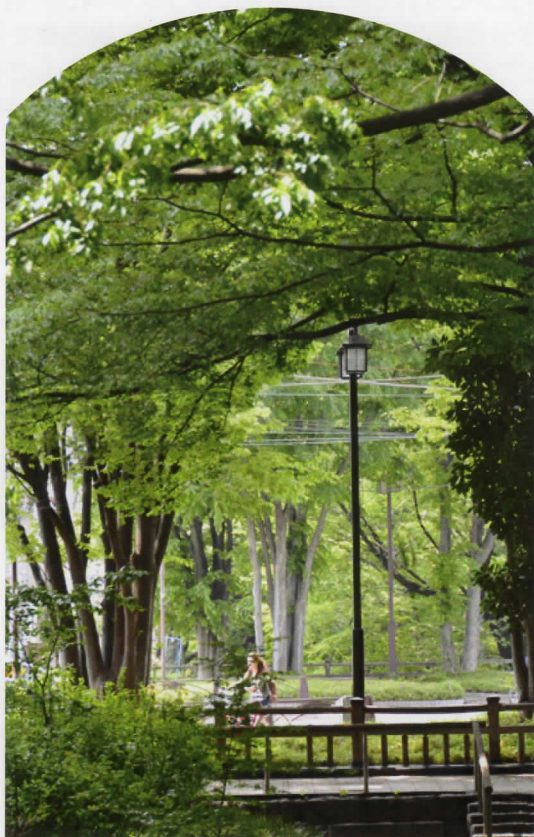
歩みつづけて30年

鎮魂と感謝、協助へ

平成 27 (2015) 年

小金井地区肝友会

結成30周年記念 プログラム



The 30th
Anniversary

from 1986
to 2015

歩みつづけて30年 — 鎮魂と感謝、協助へ

小金井地区肝友会結成30周年——私たちは、このエポックをどのように受け止めればよいのだろうか。「めでたいお祝い?」、とてもそんな気分にはなれません。30年も歩みを支えてきた幾多の先達の労苦に感謝する気持ちは大きいものがありますが、それは祝賀気分ではありません。

静かに目を閉じるとき、まぶたに浮かんでくるのは、果てしなくつづく葬列の光景です。ひとり、またひとりと、後を追うように旅立っていった数知れない病友たち…。

肝機能のデータを時系列にたんねんに記録し、フェリチン値（血清中の鉄成分）に気をつけようと力説していたAさん、最初の肝がん手術のあと、あっけなく亡くなってしまわれた。生気を失った顔色のひとみの奥に、末期への恐れを見たのは私だけだったのでしょうか。

市民祭りには欠かさずに参加し、人前では少女のように明るくはしゃいでいたBさん、3分間数百万円はかかるという放射線治療を受けながら、それを最後に逝ってしまわれた。彼女もひとりの夜、さみしさに泣き明かしたこともあったのではないだろうか。自分の最期を自覚し、仲間の女性たちと温泉へ思い出旅行にでかけ、そのあと静かに死を迎えられたCさん。

インターフェロン治療で一旦はウイルスゼロとなりながら、その後数回もの肝がんを発症し、もはや治療できないと言われながら、免疫療法や他の様々な療法に挑戦していたDさん。カラオケではいつも十八番の「帰る船」を熱唱しておられた。「よっ、バタヤん!」、粋な「昭和の男」で通された。

私たちは無念の最期を強いられた数知れない病友たちにどれほどのことをなしたのだろうか。顧みるとき、自分たちの非力さに打ちひしがれる思いがつのります。その悔しさを鎮魂の祈りに代えて、あらためてこの30周年記念を追悼の場として捧げさせていただきます。

そしてまた、私たち素人の患者集団が肝炎問題に取り組むにあたって、基本の「き」から教え導いてくださった専門医の先生方や先輩の皆さんへ、心からなる感謝の気持ちを捧げます。

昨今、抗ウイルス新薬の登場によって、治癒にいたる患者が増える一方、その機会を失って重症化をたどる高齢患者も増え続けるという、二極化の様相が鮮明になってきています。私たちは、この30周年記念の年に当たり、ひたすら高齢重症患者に寄り添っていく決意を新たにしたいと願っています。

*表紙写真「玉川上水・風の散歩道」は、サイト名「みたかなび」様のご好意により、提供を受けたものです。

「謝恩懇親会」開会冒頭のオープニング企画より)

やまい あらた
疾 いま革まり来て

宮澤賢治 作

疾 いま革まり来て
わが額に死の気配あり

いざさらばわが業のまゝ
いづくにもふたゝび生れん

たゝひたにうちねがへるは
すこやけき身をこそ受けて
もろもろの恩をも報じ
もろびとの苦をも負ひ得ん

さてはまたなやみのなかと
数しらぬなげきのなかに
すなほなるこゝろをもちて
よろこばんその性を得ん

さらばいざ 死よとり行け
この世にて わが経ざりける
数々の快樂の列は
われよりも美しけきひとの
すこやかにかにうちも得ななん
そのことぞいとゝたのしき

- *背景音楽は、P. カザルス作・演奏「鳥の歌」(1961年、ホワイトハウス・コンサート版より)
- *「オープニング」企画の具体化にあたって、古坊満吉様のご助力を得ました。感謝いたします。
- *オープニング企画に出てくる風景写真は、小金井市観光協会(撮影者：時枝 修)様のご好意により、提供を受けたものです。
- *カット写真「東京湾の夕日」は、サイト名「空と海…繋がる世界 (<http://524select.com>)」(撮影者：小西雅哉)様のご好意により提供されたものです。



「謝恩懇親会」を開催いたします

〈開催要領〉

1. 日 時：5月10日（日）12時開会（開場 11：30）／3時閉会
2. 会 場：国分寺駅南口 ^{セレオ}CELEO 8F Lホール
(JR国分寺駅南口、マルイが入っているビルの8Fの奥)
3. 会 費：3000円（当日入り口にて受付）
4. 参加者：当会会員および招待者
5. 参加メ切：ご案内に同封の返信ハガキにて**4月20日**までに
(参加申し込みの後の予定変更については、できるだけ早急にご連絡ください)

〈式次第〉

1. 12:00 開会オープニング企画（10分）
2. 12:10 第1部 記念講演 1（次ページ参照）
泉 並木 先生「肝炎治療、この30年—残された課題は何か—」
3. 12:45 第2部 謝恩懇親会（会食）
いく人かのゲストスピーチをまじえて、会食・懇談
14:00 頃 小憩後、新開設の当会ホームページ公開
15:00 閉会

*会食の料理は、中華バイキングを予定、若干の酒類の用意もあります。
料理は、同ビル9Fレストラン街の中華「華琳」より出前となります。

〈小金井地区肝友会 結成 30 周年記念〉

*** 記念講演 1 : 肝炎治療、この30年**
—残された課題は何か—

武蔵野赤十字病院 副院長

講師：泉 並木 先生

日 時：5月10日(日) 12時10分

会 場：国分寺駅 セレオ CELEO 8F Lホール



〈講師略歴〉

1978年3月東京医科歯科大学医学部卒業、5月東京医科歯科大学第二内科入局、86年4月武蔵野赤十字病院内科副部長、95年1月同内科部長、97年10月同消化器科部長、2003年2月近畿大学医学部客員教授、4月東京医科歯科大学医学部臨床教授・山梨大学医学部非常勤講師併任、08年4月武蔵野赤十字病院 副院長。

*この講演会は「謝恩懇親会」参加者のみに公開。内容は後日会報に掲載して紹介します。

*** 記念講演 2 : iPS 肝臓への挑戦 (仮題)**
—夢が現実化するのはいつか—

横浜市立大学大学院医学研究科 教授

講師：谷口 英樹 先生

日 時：2015年9月の土曜日午後(未確定)

会 場：小金井市商工会館 3F 萌え木ホール



〈講師略歴〉

平成元年 筑波大学医学専門学群卒業、同年 筑波大学附属病院医員(外科研修医)、平成7年 筑波大学大学院博士課程医学研究科修了・博士(医学)、同年 日本学術振興会特別研究員、平成9年 筑波大学臨床医学系講師・外科(消化器)、平成14年 横浜市立大学医学部教授・臓器再生医学、平成15年～平成20年 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター研究ユニットリーダー併任・臓器再生研究ユニット、平成15年～ 横浜市立大学大学院医学研究科教授・臓器再生医学(現職)。

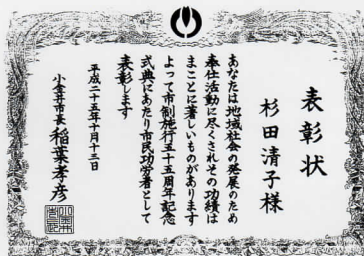
*会場予約の都合上、日時の確定が6月1日となります。会員の皆さまには、その後、改めて詳細をお知らせいたします。

小金井地区肝友会 30年史略年表

(この略年表は、黒川清知氏作成の「25年史年表」に依拠して作成したのですが、追加分の記述を含め、紙面の制約のため、割愛せざるを得なかった事項が多々あったことをご容赦ください)

年次	記 事
1984	11月、小金井市肝臓病患者の会準備会発足 「難病患者福祉手当支給請願」市議会に提出
1986	4月、小金井肝炎友の会結成総会開催、初代会長 高橋由年／事務局長 杉田清子
〃	6月、会報「小金井かんえんの友」第1号発行
〃	7月、交流会「検査と日常管理」講師：小林義隆先生
1987	5月、第2回総会 第2代会長 光岡雅彦
〃	10月、「市民まつり」初参加（以降、恒例の年次行事は掲載略）
〃	12月、講演会「地域医療について」講師：西 三郎先生
1988	11月、講演会「慢性肝炎の予防と最近の治療について」講師：丸茂恒二先生
1989	4月、定例総会にて講演会「肝臓病患者の食事」講師：小宮三紀子先生
〃	11月、講演会「肝臓病と合併症・肝機能検査の見方」講師：丸茂恒二先生
1990	11月、野外研修会 川越史跡めぐり（以降、恒例の年次行事は掲載略）
1991	2月、講演会「慢性肝炎の最新治療」講師：織田敏次先生
1992	4月、第7回総会記念講演「心の健康」講師：藤木芳清師（貞源寺住職）
〃	11月、講演会「肝臓病の最新治療」講師：児島俊也先生
1994	2月、講演会「慢性肝炎・肝硬変・肝癌について」講師：橋本悦子先生
〃	4月、第9回総会 会長代行 松永恒行 故鈴木与曾蔵副会長夫人の寄付金で「与曾蔵基金」設立
1995	2月、講演会「慢性肝炎・肝硬変・肝癌について パートⅡ」講師：橋本悦子先生
〃	3月、会報34号 創立10周年記念号発行
〃	4月、第10回総会 第3代会長 黒川清知／会名変更「小金井地区肝友会」へ
1996	2月、講演会「肝臓病治療の最新情報」講師：泉 並木先生
〃	4月、第11回総会記念講演「患者の悩みと期待に答えて」講師：高島讓二氏
1997	2月、講演会「ここまで治せる肝臓病治療」講師：小幡 裕先生
1998	2月、講演会「肝臓病のすべて」講師：日野邦彦先生
〃	4月、第13回総会記念講演「葉の正しい知識」講師：桑原亮吉先生
1999	2月、講演会「肝硬変・肝がんにならないために」講師：熊田博光先生
2001	2月、講演会「肝臓病の最新治療」講師：泉 並木先生
2002	2月、講演会「肝臓病の最新治療」講師：島村善行先生
2003	2月、講演会「ウイルス肝炎の最新治療」講師：林 茂樹先生
2004	11月、創立20周年記念質問会「気がかりに答えます」回答者：日野邦彦先生

年次	記 事
2005	1月、創立20周年記念祝賀会（国分寺駅ビル・Lサロン「飛鳥」にて）
〃	2月、東大名誉教授 織田敏次先生 訪問対談（訪問記、記念誌に掲載）
〃	〃 講演会「ウイルス性肝炎の治療の最前線」 講師：斎藤英胤先生
〃	11月、談話室にて、C型葉害肝炎訴訟・小松雅彦弁護士他の関係者と懇談
2006	2月、講演会「ここまで進んだC型肝炎の治療」 講師：飯野四郎先生
〃	4月、第21回総会後の質問会に、神山俊典先生ご出席
2007	2月、講演会「肝細胞がんに対する重粒子線治療」 講師：加藤博敏先生
〃	4月、第22回総会 第4代会長 小林与作
〃	〃 質問会「肝臓病の食事療法」 講師：星野博美・日野邦彦先生
〃	6月、東京肝臓友の会、東京都より特定非営利活動法人（NPO）の認可を受ける
2008	1月、新春交流会にて講演会「肝臓病の栄養と運動療法」 講師：加藤眞三先生
〃	〃 東肝会事務局長 天野秀雄氏、肝がんのため急逝
〃	11月、日肝協事務局長 高島譲二氏、くも膜下出血にて急逝
2009	12月、「肝炎対策基本法」、衆参両院にて全議員賛成で可決される
2010	4月、25周年記念「肝炎療養白書」（監修加藤眞三先生）、「患者会活動25年」を刊行
2011	2月、講演会「肝炎と代替医療・健康食品」 講師：加藤眞三先生
〃	3月、小林与作会長、肺炎のため急逝、4月総会にて、後任に杉田清子会長を選任
〃	10月、講演会「C型慢性肝炎における肝外徴候」 講師：四柳 宏先生
2012	4月、講演会「私が診てきた肝炎患者の闘病人生」 講師：泉 並木先生
〃	9月、講演会「肝臓を守る 食事と栄養のとり方」 講師：星野博美先生
2013	2月、講演会「肝硬変の代償期・非代償期を生きる」 講師：日野邦彦先生
〃	4月、定例総会にて、川田義広新会長選出、杉田は名誉会長へ
〃	〃 講演会「いのちが最優先される社会の実現へ」 講師：参院議員 川田龍平先生
〃	7月、「杉田さん、ご苦労様」の会開催、10月、小金井市長より「市民功労者」表彰
〃	9月、勉強会「肝炎対策基本法の現状と課題」 講師：天野聰子様
2014	7月、講演会「新薬情報を患者視点から読み解く」 講師：板倉 潤先生
〃	9月、C型肝炎経口抗ウイルス2剤、ダクラタスビルとアスナブレビル、保険適用
2015	5月、「結成30周年記念 謝恩懇親会」開催（国分寺駅セレオビル8F Lホール）



2013年10月、小金井市制施行55周年に、杉田清子名誉会長が、永年の福祉活動への貢献を功として、稲葉孝彦市長より「市民功労者」表彰を受けました。

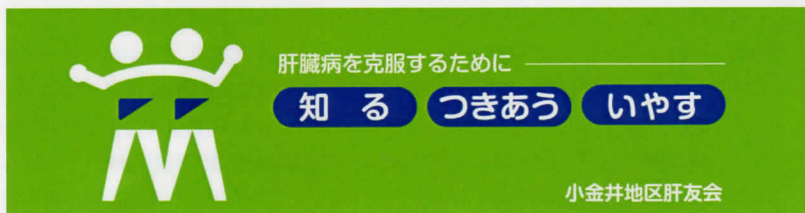
小金井地区肝友会のホームページができました

30周年記念事業のひとつとして、ホームページを立ち上げました。
内容的にはまだまだこれからです。充実したホームページに育つよう、皆様のご協力を
お願いします。ホームページをご覧になって、ぜひご感想・ご意見をお寄せください。

<ホームページの検索方法は2つ>

① URLを入力する ⇒ <http://www.kantomo-koganei.jimdo.com/>

② 検索サイトに言葉を入力する ⇒



小金井地区肝友会ホームページを開設しました

皆様のご協力により、「小金井地区肝友会」のホームページをスタートすることができました。肝臓病を克服するために、知っておきたい情報を迅速・正確にお届けできるよう努めます。左上の人と人が肩を組んでいるマークをご覧ください。このロゴマークには「助け合いながら頑張るぞ!」というメッセージがこめられています。ホームページ開設にあたって、ロゴマークデザインの専門家、LLOTJA de DISSENYの小泉芳則さんがボランティアで制作していただきました。文字のデザインも小泉さんの手によるものです。会員やそのご家族だけでなく、肝臓病で悩んでいるひとりでも多くのチカラに活用していただけるホームページをめざしてまいります。(事務局)

お知らせ

What's new

最新情報はここをチェック

ホーム

会の紹介

講演会と勉強会

最近の活動

今後の活動

知っておこう こんな話題

大切なお知らせ

会報「かんえんの友」

投稿コーナー

入会案内

お問い合わせ

ホームページ制作にご協力いただき有難うございました。

- ・小金井市障害者福祉センター
- ・小泉 芳則さん (LLOTJA de DISSENY)
- ・高柳 詔二さん (JPITA公認パソコンインストラクター)

*サイトは公開当初のものです。